

首相解釈改憲論は「誤り」

参院・国の統治機構に関する調査会

野中広務元首相長官は19日、参院・「国の統治機構に関する調査会」に参考人として出席し、安倍晋三首相が狙う解釈改憲による集団的自衛権の行使容認について、「憲法上から、いまの内閣の歩んでいる道は非常に誤りつつある」と批判しました。日本共産党の倉林明子議員が「国会も内閣も憲法の要請にどうこたえ

倉林氏質問に野中参考人

るかが重要だ」と指摘し、信じているような危険たのに対し、見解を述べたもの。信と指摘。「せこいやり方であり、基本を

野中氏は冒頭の意見陳述で、民主、自民、公明などが決めた4月からの消費増税について「政党間では、そのことがこの国で合意されたことは、の前途を誤ることにな」と無視され、社会保障制度の充実どころか劣議員への陳述」と主張し、消費税の増税だけが先行されるのではない、NHK会長の暴言にかつ懸念を示しました。NHK会長の暴言にかつ懸念を示しました。

野中氏は解釈改憲に関して国会できちんと問題にし、「内閣は自分たちのすべき」だと厳しく批判行動を高揚し、それを自